

「災害（復興）・防災と男女共同参画に関する講師養成研修」

2020年度 実施報告書

特定非営利活動法人全国女性会館協議会御中  
 下記のとおり、報告いたします。

報告日 2020年 12月 17日

1 施設概要

施設名	浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター「あいホール」	
代表者名・職名	井出あゆみ（特定非営利活動法人浜松男女共同参画推進協会 理事長）	
住所	〒433 - 8123 静岡県浜松市中区幸三丁目3-1	
	電話 053 - 412 - 0351	FAX 053 - 412 - 0377
担当者名・職名	主担当 定方 恭子（特定非営利活動法人浜松男女共同参画推進協会 事務局長）	
	E-mail info@ai-hall.com	

2 事業の概要

事業名	災害（復興）・防災と男女共同参画に関する講師養成オンライン研修
趣旨、ねらい	受講者が、なぜ災害・復興・防災に男女共同参画の視点が必要なのかを理解し、地元の住民や行政、自主防災組織などにどうすれば分かりやすく伝える事ができるのかを学び、更には各の地元で研修講師となって活躍することを目的とする。
対象者と定員	対象者：全国女性会館協議会の会員館職員、防災に関係する自治体職員、 テーマに関心のある方 定員：30名（先着）
実施日	2020年12月11日（金）12月12日（土）
プログラム概要	① オンデマンド事前学習（11月21日～12月12日） 12月7日までに、事前学習に関する質問、アンケートと企画書（任意）を、事務局に送信 【基本知識】（基本スライドの上演）大規模災害時、実際にどのような困難に直面しているのかと、基本的な対策について 【地域防災の基礎と女性の活躍】事前学習資料（第7章の部分） 【男女共同参画の視点に立った防災研修の組み立てとその意義】女性関連施設が防災学習に取り組む意味・意義と、実践に当たって重要なポイントや求められる力について  ② 1日目（12月11日） 開会あいさつ・資料確認・Zoomの動作確認、オリエンテーション 【災害時の要配慮者支援】大規模災害時の要配慮者支援について

	<p>③ 2日目(12月12日)</p> <p>【国際動向・国内政策と現状】内閣府の新避難所運営ガイドライン、トイレの確保・管理に関するガイドライン等最新の政策状況について</p> <p>【新型コロナウイルス感染症流行下での災害】新型コロナウイルス感染症流行下での災害発生に備えて留意すべき点について</p> <p>【災害時の暴力問題に関するワークショップ】災害時の女性と子どもに対する暴力の内容や背景についての理解と、具体的な防止及び対応方法について</p> <p>【今後の実践のための講義&amp;ワークショップ】受講者が考えた企画について、主旨を発表し合い、地域での学習実践に効果的なワークショップを学び考える閉会あいさつ、交流タイム(自由参加、途中退出可)</p>
<p>実参加者数</p>	<p>31名(会員16名、非会員15名)</p>
<p>アンケート結果の概要</p>	<p>研修内容は全員の方に満足いただけた。講師に向けての具体的な講義内容についての回答は省き、アンケートの記述回答の一部を下記に示す。</p> <p>① 事前学習について</p> <p>「自分の時間で学習できて良かった」「聞き漏らした箇所を何度も繰り返し視聴できて良かった」「まとまった時間が取れず途切れ途切れの視聴となったが、短い時間で区切ってあったので良かった」「思っていた以上にボリュームがあり視聴時間の確保に苦労した」</p> <p>① 1日目のプログラムについて</p> <p>「具体的に事例説明をいただき分かりやすかった」「思ったよりフランクな雰囲気良かった」「ワークショップを利用する際のイメージがわいた」「もう少し講義の時間が長くても良かった」</p> <p>② 2日目のプログラムについて</p> <p>「コロナ禍での災害対応については、大変参考になった」「他の地域の方々ともお話しする機会があり参考になった」「大変濃い内容でとても勉強になった」「防災に女性の視点を入れていくことの重要性をよく考えることができた」「政策的な観点の説明をいただき、とても参考になった」</p> <p>③ その他</p> <p>「活動の様子にも地域差があり参考になった」「出会いの場のきっかけを頂けて感謝!」「リモートのおかげで遠方の方のお話を伺うことができ、うれしかった」「オンラインに慣れず、変な緊張感があった」</p>
<p>担当者所感</p>	<p>応募の段階では、地元の自治会(自主防災隊)の関係者や自治体職員にも強く呼びかけて受講いただくつもりであったが、新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン開催に切り替えたため、それができなかったことが残念だった。しかし、オンライン開催としたことで、北海道から九州までの幅広い地域からの受講につながり、全国組織にふさわしい研修となったのではないかと感じている。申込者数がほぼ定員通りとなり、結果的にズームでのワークショップが円滑に行えるなど、むしろオンライン開催のメリットを活かすことができ、受講者にも満足いただけた。実施に向けては初めての苦労がたくさんあったが、コロナ禍はまだ続く懸念があるので、習得したスキルや設備投資を今後活かそうと前向きにとらえている。</p> <p>研修内容は講義、ワークショップ共に素晴らしかった。男女共同参画社会は足元の地域からの形成も大切なので、防災は推進の良いきっかけとなる。研修内容にはその推進方法を含む防災関連の知見がたくさん詰まっているので、受講者の今後の活躍により地域への男女共同参画の視点が広がることを期待したい。</p>